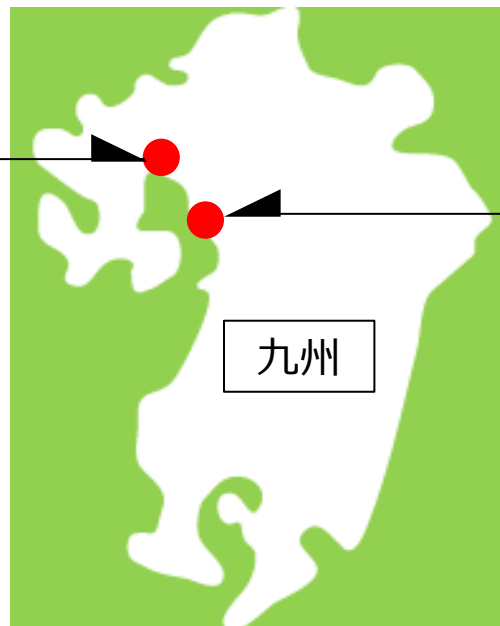


インダストリアルツアー in Kyushu 2023

～開催報告～

佐賀市



大牟田市



2023年10月

主催：九州経済国際化推進機構、一般社団法人 九州経済連合会、九州経済産業局、大牟田市、佐賀市

後援：独立行政法人 日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター・佐賀貿易情報センター

1. 開催概要

- ◇九州地域への外資系企業の誘致や、外国企業と地域企業の協業・連携を促進するため、在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府関係機関等を対象として、九州の投資環境の説明、並びに、九州企業の現地視察等を行う「インダストリアルツアー in Kyushu 2023」を開催。
- ◇2023年度は、カーボンニュートラルをテーマとし、CCU（※）をはじめとするエネルギー・環境分野の施設、外国企業との連携・協業を志向する企業等の現地視察を実施。
（※） Carbon dioxide Capture and Utilization : 二酸化炭素の分離回収・有効利用。
- ◇当日は、外資系企業や外国公館の関係者等、12カ国・地域の21名に参加頂き、今後の協業・連携の可能性も視野にいたした活発な意見交換がなされた。

- (1) 日 時 2023年10月17日（火） 8:20～18:00
- (2) 視察先 福岡県大牟田市、佐賀県佐賀市
 エネルギー・環境関連分野の取り組みを進める企業
 海外企業との連携・協業を志向する企業 等
- (3) 主 催 九州経済国際化推進機構、(一社)九州経済連合会、九州経済産業局、
 大牟田市、佐賀市
- (4) 後 援 (独)日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター ・ 佐賀貿易情報センター
- (5) 参加者 在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府等関係機関 21名（12カ国・地域）
- (6) 移動方法 借上げバス（参加費無料）

2. スケジュール

8:20集合 (8:30発)	福岡合同庁舎本館 集合・出発
車中	◇主催者挨拶 ◇ツアー概要説明 ◇九州のビジネス・投資環境 ◇九州におけるCNの取組 ◇JETRO支援策説明
10:10 ～12:30	◇大牟田市の取組紹介 (1) (株)シグマパワー有明 (2) 東芝エネルギーシステムズ(株)
12:40 ～13:30	昼食（大牟田市内）
車中	◇佐賀市の誘致策説明
14:20 ～17:00	(3) 佐賀市清掃工場 (4) (株)アルビータ (5) 環境エネルギー(株)
車中	◇アンケートへの記入等
18:00	福岡合同庁舎本館 到着・解散



3. 取組紹介・視察

(1) 株式会社シグマパワー有明 (大牟田市新港町1-46)

1983年に石炭火力発電所としてスタートした三川発電所は、2017年に環境調和型の発電所を目指して、パーム椰子殻 (PKS) を主燃料としたバイオマス発電所にリニューアル。

これにより従来の石炭焚きと比較して、年間約30万トンのCO₂を削減。本ツアーでは、バイオマス発電所を視察。

参加者からは、石炭火力発電の設備を、バイオマス発電所に改修した取組に対する賞賛の声とともに、燃料の調達先、コスト、将来の事業展開等に関心が示された。また、実際に設備を視察することで、バイオマス発電への理解を深めることができたとの声等が聞かれた。



(パーム椰子殻 (PKS))
Palm Kernel Shell



(シグマパワー有明 三川発電所)



(シグマパワー有明 取組紹介)



(バイオマス発電施設 視察風景)

3. 取組紹介・視察

(2) 東芝エネルギーシステムズ株式会社（三川発電所内）

同社では、環境省の「環境配慮型CCS実証事業」として、三川発電所から排出されるCO₂を分離回収する大規模実証設備を2020年から運転開始。

本設備は、発電所から1日に排出されるCO₂の50%に当たる500トン以上のCO₂を分離回収することが可能であり、この規模の設備としては日本初。

本ツアーでは、CO₂分離回収設備を視察。

参加者からは、専門知識が無くてもわかりやすい説明であり、CO₂分離回収技術への理解を深めることができたとの声が聞かれた。

また、海外でも関連事業に取り組まれているとのことであり、今後も連携が深まることを期待するとのコメントも聞かれた。



（東芝エネルギーシステムズ 取組紹介）



（CO₂分離回収実証設備前での集合写真）

3. 取組紹介・視察

(3) 佐賀市清掃工場（佐賀市高木瀬町大字長瀬2369）

佐賀市では、2014年にバイオマス産業都市の認定を受け、持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくりを進めている。

本ツアーでは、下記の2事業を視察。

①二酸化炭素分離回収・有効利用事業（CCU）

②清掃工場の焼却熱を活用したグリーン電力発電事業
ゴミ焼却場からCO₂を分離回収している日本初の取組であり、参加者からは、民間企業との連携で行う資源循環の取組に大変感銘を受けたとの声が多く聞かれた。

また、佐賀市の取組を賞賛し、今後、自国の見本市等で紹介頂きたい。自国企業に繋がりたい等のコメントも聞かれた。



（清掃工場内のCO₂分離回収設備）



（佐賀市 取組紹介）



（質疑応答の様子）



（佐賀市清掃工場 視察風景）

3. 取組紹介・視察

(4) 株式会社 アルビータ (佐賀市高木瀬町大字長瀬1775-1)

同社では、隣接する清掃工場から分離回収されたCO₂を利用して微細藻類を培養。抽出した有用成分（アスタキサンチン）を活用して商品開発や販売事業を展開。

本ツアーでは、藻類培養施設を見学。

参加者からはゴミ焼却施設から供給されるCO₂の品質や価格に関する質問等が出され、ゴミ焼却施設に設置するCO₂分離回収設備への関心の高さが示された。

また、参加者からは微細藻類が持つ様々な可能性に関するコメントが出され、企業にとっては新たなビジネスに繋がりそうな意見交換となった。



(有効成分を配合した化粧品)



(有効成分を配合したサプリ)



(アルビータ 取組紹介)



(微細藻類の培養施設 視察風景)



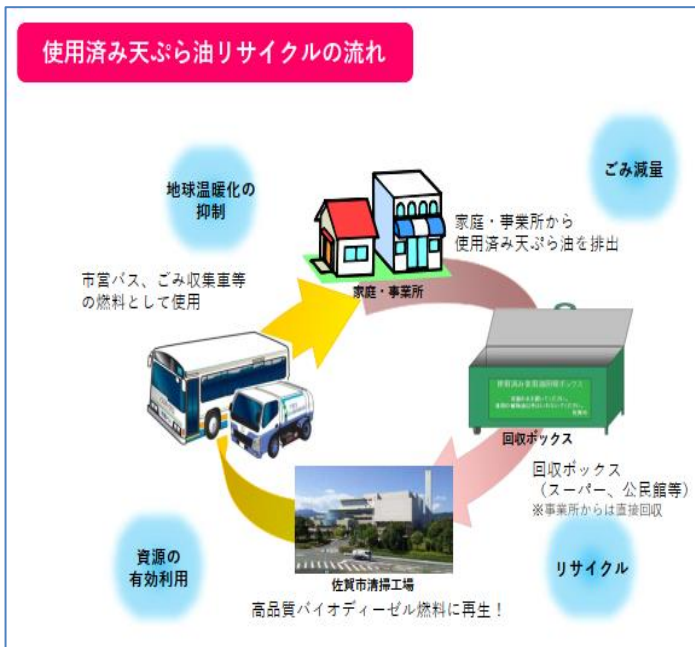
3. 取組紹介・視察

(5) 環境エネルギー株式会社（佐賀市清掃工場内）

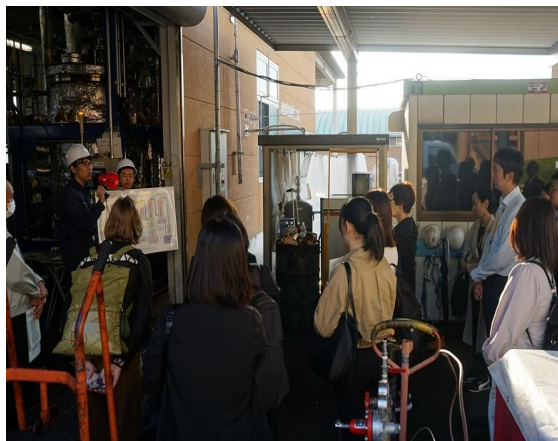
同社では、家庭や事業所から佐賀市が回収した廃食用油を、清掃工場内の精製施設において高品質なバイオディーゼル燃料へとリサイクル。バイオディーゼル燃料は、公共バスやごみ収集車等で活用している。

本ツアーでは、廃食用油のリサイクル設備を見学。

参加者からは、一般市民の協力により廃食用油を回収する取組を賞賛する声が出されるとともに、今後、日本の他地域への展開や、海外への展開を期待する声等も聞かれた。



(環境エネルギー 取組紹介)



(精製施設 視察風景)



(回収ボックス)



(廃食用油排出例)